

第 21 回

昔を！今を！今歌う会

“ちいさい秋” をみつけて
素敵な秋の唄を歌いましょう！

おはなし・歌唱指導 酒井沃子 安田直弘
ピアノ 半澤尚美



2014年10月22日(水) 開演 14:00

アートフォーラムあざみ野 1階レクチャールーム

■ 主催 今歌う会実行委員会

プログラム

第一部 秋の唄あれこれ

- | | | |
|--------------|---|-----------------|
| 1. ちいさい秋みつけた | 作詞：サトウハチロー | 作曲：中田喜直 |
| 2. もみじ | 作詞：高野辰之 | 作曲：岡野貞一 |
| 3. 里の秋 | 作詞：斎藤信夫 | 作曲：海沼 實 |
| 4. まっかな秋 | 作詞：薩摩 忠 | 作曲：小林秀雄 |
| 5. 野菊 | 作詞：石森延男 | 作曲：下総皖一 |
| 6. たきび | 作詞：巽 聖歌 | 作曲：渡辺 茂 |
| 7. 秋メドレー | ♪四季の歌～柿の木坂の歌～上を向いて歩こう～
みだれ髪～錆びたナイフ～風立ちぬ～荒城の月 | |
| 8. 旅愁 | 訳詞：犬童球溪 | 作曲：ジョン・P・オードウェイ |
| 9. 枯葉 | 訳詞：中原淳一 | 作曲：ジョゼフ・コズマ |
| 10. 案山子 | 作詞・作曲：さだまさし | |
| 11. 秋桜 | 作詞・作曲：さだまさし | |
| 12. 昭和枯れすゝき | 作詞：山田孝雄 | 作曲：むつひろし |
| 13. 誰もいない海 | 作詞：山口洋子 | 作曲：内藤法美 |
| 14. 恋人よ | 作詞・作曲：五輪真弓 | |
| 15. 赤とんぼ | 作詞：三木露風 | 作曲：山田耕筰 |

~~~~~ 休 憩 ~~~~~

## 第二部 “音楽で笑おう！”

♪オペラの楽しみ方

「トウランドット」より“誰も寝てはならぬ” / パヴァロッティ など

—講師：安田直弘

## 第三部 リクエストコーナー

・皆様からいただいたリクエスト曲をみんなで歌いましょう。



♪プログラムの進行上、曲順、曲目等が変更になることがあります。  
あらかじめご了承ください。

# エピソード

## 童謡「赤とんぼ」の謎

♪夕焼け小焼けの赤とんぼ、は日本人なら誰でも知っている名曲です。  
作詞したのは三木露風（大正10年作）、作曲は山田耕筰（昭和2年作）。  
しかし、この曲には幾つもの謎があり（特に歌詞）、未だに論争(?)が続いているとか。  
まず、歌詞ですが、三木露風が書いたのは北海道のトラピスト修道院に於いてでした。  
彼が外を見ていると赤とんぼが竿先にとまっている。それを見て、幼いころを思い出す。  
つまり、四番の歌詞が彼の見ていた現実。一・二・三番は回想です。  
さて、問題は三番の歌詞です。

♪15で姐やは嫁に行き。とありますが幾らなんでも早すぎない？

しかし、「65条 男八満十七年女八満十五年ニ至ラサレハ婚姻ヲ為スコトヲ得ス」

（明治31年7月から施行された明治民法による）とあるので、この問題はクリア。  
でも、大正時代でも15歳で結婚する人の割合は極めて低かったらしいので、これは露風の  
創作ではないか、という人もいるようです。

露風の両親は、彼が幼少のころ離婚したのですが、その母親が嫁いできたのが、15歳だった  
とのこと。そんな影響が作品に反映されたのかも。

♪お里のたよりも絶えはてた。

この問題が難しい。要するに「里」というのは誰の里なのか。

普通に考えれば里は姐やの実家ということになりますが、いやいや、この里は露風のものだ、  
という説もあります。

露風が中年になってから、当時の情景を思いかえして作られたこの「赤とんぼ」。

その彼が、姐やの実家のことなど気にするだろうか。

実家に戻った姐やも早く嫁に行ってしまった。私の実家も今どうなっているかわからない。  
と解釈できる。

というわけで、露風自身が明らかにしていないので、いずれにしても推測に過ぎません。

「赤とんぼ」について、露風は手記を残しています。が、露風が幼いころ、夫の放蕩を嫌った母  
親は家を出て行った為、露風は祖父に育てられた。そんな複雑な家庭事情は手記にも書きたく  
なかったのかもしれない。

さて次は山田耕筰の「曲」について。

数多くの歌曲、童謡・唱歌を作曲した山田耕筰は、日本語のアクセントやイントネーションを  
たいせつにした曲作りをしていたといわれます。

しかし、この歌では「あかとんぼ」と、「あ」を高く、「かとんぼ」を低くしています。

ちょっと違和感がありますね。

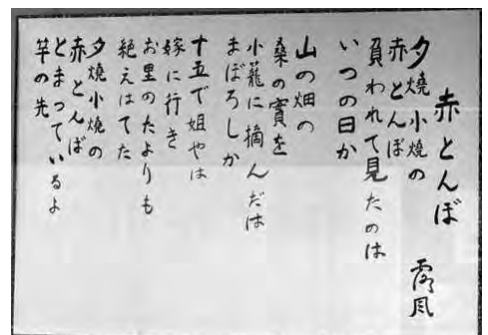
これについては、團伊玖磨が直接山田耕筰に尋ねたところ、「自分が作曲したようにあかとんぼ  
と言うのが正しい。江戸時代から、東京ではあかとんぼと言ひ、あかとんぼとは言わない。生粋  
の江戸っ子に訊いてごらん」といわれたという。

（團伊玖磨のエッセイより）。

この曲の前半は、シューマンの『序奏と協奏的アレグロ  
ニ短調 op.134』の中で18回繰り返されるフレーズに酷似  
していることで知られています。（昭和56年吉行淳之介の  
エッセイで有名になった）

というわけで、聴きなおしてみると、うーん、似てる！

是非一度聴いてみることをお勧めします。



# プロフィール

## 酒井 沃子 Yoko Sakai

東京藝術大学音楽部声楽科卒業。数々のコンサートの企画運営に情熱を注ぎ、既成概念を破る印象的なステージ創りを次々と実現させている。コーラス4団体の主宰をし、個性を持った何処にも無いグループとして育てている。平成15年設立された、NPO法人「65歳からのアトラライフ推進会議」では、理事長として、青葉区から発信する音楽イベントを実現させ、多方面から注目を浴びている。「昔を今を 今歌う会」では、主宰・指導者として、地域の音楽に貢献している。

## 安田 直弘 Naohiro Yasuda

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。卒業後、シャンソン、ポップス、ソウルバンド等、長年演奏活動を続ける。NHK レッツゴーヤングの歌唱指導等で高い評価を得る。現在、歌手・俳優へのヴォイストレーニングでも活躍中。東海大学、文化学院大学非常勤講師。

## 半澤 尚美 Naomi Hanzawa ピアノ

桐朋学園大学音楽学部ピアノ科卒業。ピアノを井口基成、森安芳樹、室内楽を岩崎 淑の各氏に師事。虎ノ門ホールにてデビューコンサート、県立音楽堂にて横浜弦楽四重奏団と競演。イタリア、シェナ夏期講習に参加。現在、昭和音楽大学および同大学付属音楽教室ピアノ講師として後進の指導にあたる。

## スタッフ

- ・山本 桂子（事務局長）・丹羽 綾子（ステージコーディネータ）・坂野 義雄（事務・会場）
- ・藤本 裕（構成・プログラムデザイン） ・その他ボランティアの皆さん

## ☆ 次回のご案内 ☆

- ・2015年1月11日（水）開演 14:00（開場 13:30）
- ・会場：スタジオ・バルーン

次回より運営方式が変更となります。

- ・お問い合わせ & リクエスト先：オフィスバルーン Tel. 045-902-7402  
Fax. 045-901-9914  
E-Mail. office\_balloon@a00.itscom.net